

いい。地域公共経済学でも最適な都市規模は人口20万人程度と言われている。国のアメがなくなっても合併する価値とメリットはある。燕三条ナンバーの活動は心から歓迎しており、引き続き応援したい。来年の選挙については私見だが、この地域の中長期的な展望を見据えた中で合併の在り方が論点の一つになることが望ましいと捉えている。

旧三条小学校跡地の活用について

問 図書館建設について提案申し上げます。木造、それもCLT工法で建設を！であります。CLTとは、直交集成材のことを言い、1990年代からヨーロッパで研究されており、国土交通省もその普及に努めております。ご所見を伺います。

答 当該跡地付近には、まちなか交流広場や鍛冶道場などがあり、周辺施設と一体感を持たせる観点を十分意識し、ご提案いただいたことは、十分参考にさせていただきます。

大崎中学校移転後の跡地の検討状況について

問 新潟県で最初の義務教育学校、大崎学園が開校する。施政方針でも述べられた大崎中学校移転後の跡地の検討状況について伺う。

答 跡地活用については、地元の大崎地区自治会長協議会および大崎コミュニティの連名により子育て支援施設の整備、コミュニティセンターの整備、体育館の整備、芝生グラウンドの整備、災害時の避難所や資材置き場としての活用を盛り込んだ要望書が提出されている。これら地元から要望された内容を十分に勘案しながら、現在関係各課から既存施設の活用や必要な機能等について意見を聴取し、スケジュール等も含め検討している。本年度中には跡地活用に係る基本的な方向性を取りまとめたいと考えている。また、跡地活用に関する基本的な方向性がまとまり次第、必要に応じて地元の方々への考え方を説明し、ご意見を頂く機会を設けたいと考えている。

安心して暮らせる地域をひねりだす

問 下田地区では、医者の確保と買い物などの「足」についての要望が切実だ。市の対応は。

答 診療所開設で医師と面接を行ったが決定に至っていない。現在、デマンド交通は平日だけ、土日祝日運行の社会実験を行い、費用対効果を分析中だ。

須頃地区の土地区画整理について

問 進捗状況はどうか。

答 計画通りに進んでいる。

問 ゲリラ豪雨や冠水の対策は。

答 調整池は30年に1度、排水施設は10年に1度の豪雨に対応。電柱や電話柱の移設費用は、関係者と協議中である。



トイレが汲み取り式の老人憩いの家と森町分館



仮称 須頃土地区画整理事業計画図

公共施設再配置計画について

問 廃止等を検討する施設の維持管理費や利用率向上のためのトイレ水洗化について伺う。

答 使用に支障を来さぬよう効果等を勘案し、適宜実施する。

高齢者対策としてのリフォーム支援策について

問 三条市に新たに移住される方だけでなく、以前から三条市に住んでいる高齢者の方々の住環境の質的向上のためのリフォーム支援策について、どのように考えているのか。

答 介護保険サービスによる住宅改修費の支給および県の補助金を活用した高齢者、障がい者住宅整備補助事業により助成を行っている。まずは、この2つの制度を広く活用いただきたい。

中国の鄂州市と三条市の子どもたちの交流について

問 将来を担う子どもたちの国際交流は、昨今の国際環境の緊迫感を見ると、これからますます重要視されるものと思う。最近の鄂州市の動きを見ていると、三条市との交流の再開に期待しているという。鄂州市との青少年海外派遣事業をどのように考えているのか。

答 先日、鄂州市から子どもたちの訪問活動を考えているという話を頂

学校・保育所のインフルエンザ予防について

問 希望者に対するワクチンの確保はできないのか。

答 仕組みとしてできない。

問 職員の予防接種について伺う。

答 高い予防効果が期待できず、自主的に行っている。

職員の勤務体制について

問 就業時間である8時30分からの朝礼の是非について伺う。

答 現状で問題はない。

問 産前休暇8週間についての見解は。

答 県内他市等の状況を考慮し、検討していく。

問 技術と保育の職員が特に不足している。再任用職員を活用してはどうか。

答 再任用職員による人員確保ではなく、新規採用による人材の確保に努める。

大面川の氾濫対策について

問 大面川は、以前から上流の山間



氾濫した水が県道を川のように流れる

いており、市としては大歓迎である。受け入れに備えて準備を進めていきたいと考えている。

子どもの医療費助成について

問 知事は来年度、子ども医療費の助成を拡充すると表明した。三条市は県下最低水準だが、来年度引き上げるのか。

答 新たな安定的な財源があればこれまでにも拡充してきた。交付金の見通しが立った時点で検討したい。

健康運動教室の継続について

問 健康運動教室を体育協会に委託すると聞いたが、参加者は市が責任を持って続けてほしいと願っている。市の対応は。

答 体育協会がしっかり運営できるように市も支援していく。

市が進めている高等教育機関について

問 1、2校の大学で人口流出に歯止めはかからない。財源も国の動

部に降った雨が鉄砲水となって下流に大きな被害を出している。その対策として、県とも視察会を行っているが進展が見られない中、平成29年にも再び豪雨災害が発生し、近くの墓地までも被害に遭っている。早急な対策が必要と思うがどうか。

答 県と協議を行ってきたが事業の進捗には至らなかった。市としても早急な対策が必要であると認識している。集落内は住宅が密集し、河川改修については難しい面があり上流に遊水地の設置を考えている。平成30年度には調査測量に入り、地元との協議を行い設置する方向で考えている。